



すべての人にベター・クオリティ・オブ・ライフ

**2016年3月期 決算説明資料**

ウイン・パートナーズ株式会社

代表取締役社長 **秋 沢 英 海**

# 2016年3月期 決算概要

---

# 2016年3月期実績

(単位：百万円)

	前期	当期	前期比	期初計画
売上高	50,558	<b>54,147</b>	+7.1%	55,500
営業利益	2,599	<b>2,965</b>	+14.1%	2,950
経常利益	2,626	<b>2,978</b>	+13.4%	2,950
当期純利益	1,690	<b>2,111</b>	+24.9%	1,930
1株当たり当期純利益(円)	117.78	<b>147.11</b>	—	134.46
1株当たり純資産(円)	872.05	<b>970.30</b>	—	

# 主な取り組み

## ◆ 既存顧客深耕

---

⇒ 集患施策、施設認定取得などのバリューアップ支援

## ◆ 新規顧客開拓

---

⇒ 新規エリアにおける顧客獲得

## ◆ 成長分野の体制強化

---

⇒ アブレーションのスペシャリストチームによる施設支援

## ◆ 粗利益率の改善

---

⇒ 一括買取の拡大

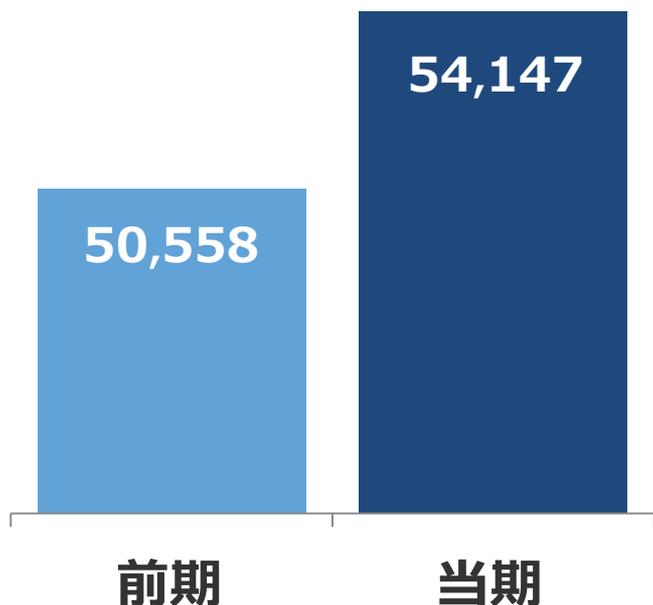
## ◆ コーポレート・ガバナンスの強化

---

# 決算のポイント

売上高 <sup>前期比</sup> + 7.1% <sup>計画比</sup> (▲2.4%)

(単位：百万円)



**既存・新規施設ともに好調  
営業拠点を新設したエリア  
での顧客開拓が進む**

前期開設：広島・北海道(函館)・長野(佐久)

当期開設：茨城(水戸)

**分類別ではPCI・CRSが寄与**

# 分類別売上高の状況

	金額 (百万円)	売上高伸長率 (%)		売上高構成比	
		数量	金額	比率 (%)	増減 (pt)
虚血性心疾患関連(PCI)	22,624	+7.6	+7.4	41.8	+0.1
心臓律動管理関連(CRS)	11,374	+20.8	+13.1	21.0	+1.1
心臓血管外科関連(CVS)	6,662	▲ 0.9	▲ 0.7	12.3	▲ 1.0
末梢血管疾患関連(PPI)	2,803	+15.6	+4.7	5.2	▲ 0.1
脳外科関連	1,903	+9.8	+21.4	3.5	+0.4
糖尿病関連(DMS)	773	-	+33.6	1.4	+0.3
大型医療機器関連	3,329	-	▲ 17.0	6.1	▲ 1.8
その他	4,675	-	+20.1	8.6	+0.9
合計	54,147	-	+7.1	100.0	

# 分類別売上高ハイライト(対前期)

## PCI

好調な既存施設に加え、新規獲得施設が寄与。  
症例数が伸長し、製品別では、DESが数量・金額ともに2桁の伸び。

---

## CRS

好調な既存施設に加え、新規獲得施設が大きく貢献し、2桁増収。  
製品別では、EP・アブレーション、MRI対応型ペースメーカーが寄与。

---

## CVS

TAVIは下期に症例数・売上ともにプラスに転じたが、ステントグラフトの償還価格の段階的下落の影響等をカバーできず僅かに減収。

---

## PPI

症例数は、シャント・末梢ともに増加。  
製品別では、PTAバルーンカテーテルの販売数量が2桁増となるも、単価の高い末梢血管用ステントの数量が減少し、小幅増収。

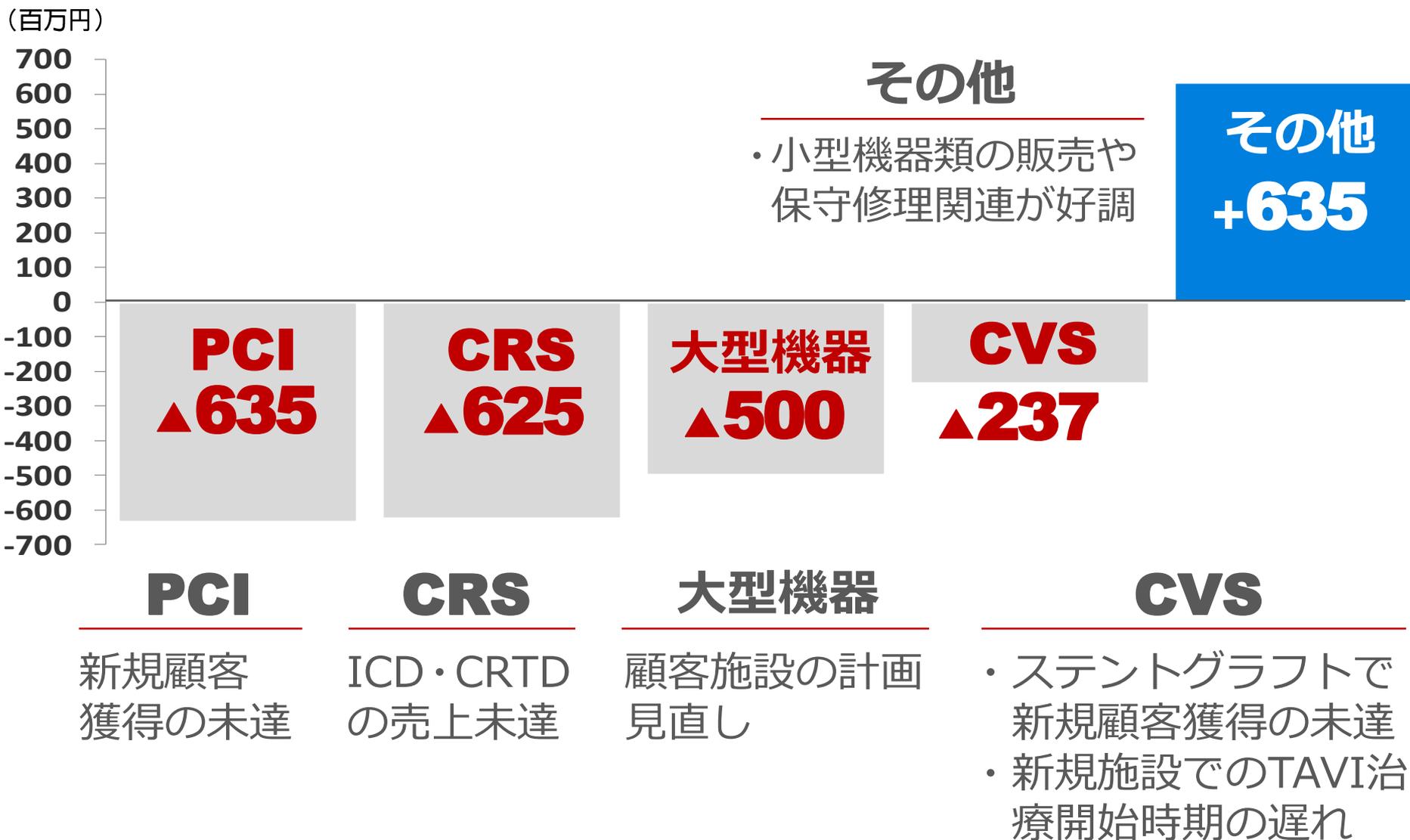
---

## 大型医療 機器関連

建築コスト増による病院の計画見直しと期ずれ等により減収。

---

# 分類別売上高ハイライト(対計画)

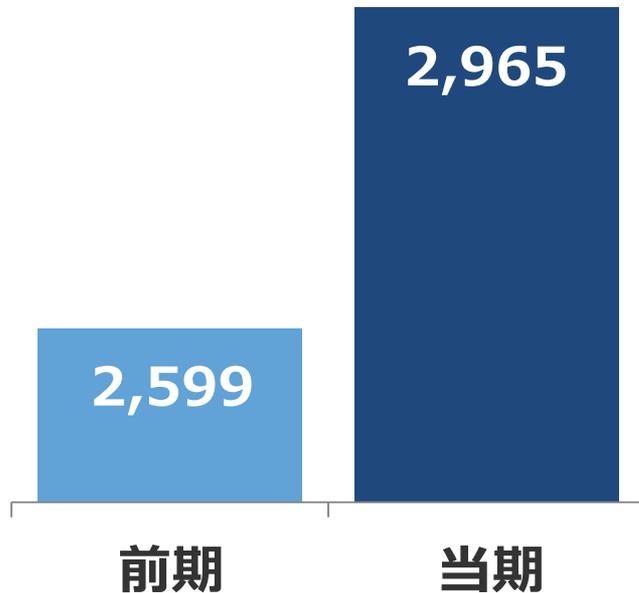


# 決算のポイント

前期比  
営業利益 **+14.1%** (計画比 **+0.5%**)

## 営業利益率は0.4pt改善

(単位：百万円)



前期比  
売上総利益率 **13.4%** ( **+0.2pt** )

- ・ 一括買取及びCRSの数量増による改善
- ・ 売上ミックスによる改善

前期比  
販売管理費率 **7.9%** ( **▲0.2pt** )

人件費以外の、その他経費が減少

【販売管理費】 前期比 **+4.9%**

人 件 費 前期比 **+8.4%**

その他経費 前期比 **▲3.0%** 上場関連費用の消失等

〔人員数〕 当期末 **422名** 前期末 **399名**

# 決算のポイント

当期純利益 <sup>前期比</sup> + 24.9% ( <sup>計画比</sup> + 9.4% )

---

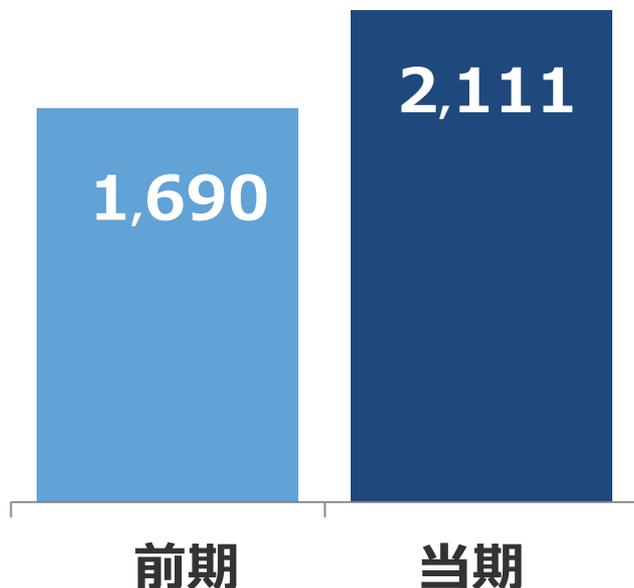
(単位：百万円)

特別利益 **294** 百万円

- ・ 投資有価証券売却益
- ・ 保険解約金 等

特別損失 **182** 百万円

- ・ 退職給付引当金の算定方法の変更に伴う退職給付費用



# 連結損益計算書

	前期		当期	
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
<b>売上高</b>	<b>50,558</b>	<b>100.0</b>	<b>54,147</b>	<b>100.0</b>
売上原価	43,862	86.8	46,882	86.6
<b>売上総利益</b>	<b>6,695</b>	<b>13.2</b>	<b>7,264</b>	<b>13.4</b>
販売管理費	4,096	8.1	4,299	7.9
<b>営業利益</b>	<b>2,599</b>	<b>5.1</b>	<b>2,965</b>	<b>5.5</b>
営業外収益	30	0.1	13	0.0
営業外費用	2	0.0	0	0.0
<b>経常利益</b>	<b>2,626</b>	<b>5.2</b>	<b>2,978</b>	<b>5.5</b>
特別利益	4	0.0	294	0.5
特別損失	1	0.0	182	0.3
<b>税前利益</b>	<b>2,629</b>	<b>5.2</b>	<b>3,090</b>	<b>5.7</b>
税金費用	938	1.9	978	1.8
<b>当期純利益</b>	<b>1,690</b>	<b>3.3</b>	<b>2,111</b>	<b>3.9</b>

# 連結貸借対照表

	2015年3月末		2016年3月末		増減 (百万円)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
<b>流動資産</b>	<b>24,537</b>	88.4	<b>26,624</b>	<b>90.2</b>	<b>2,087</b>
現金・預金	7,238	26.1	9,285	31.5	2,047
売上債権	14,512	52.3	15,137	51.3	624
商品	2,106	7.6	1,475	5.0	▲630
その他流動資産	679	2.4	725	2.5	46
<b>固定資産</b>	<b>3,228</b>	11.6	<b>2,891</b>	<b>9.8</b>	<b>▲337</b>
<b>資産合計</b>	<b>27,765</b>	100.0	<b>29,515</b>	<b>100.0</b>	<b>1,749</b>
<b>流動負債</b>	<b>14,821</b>	53.4	<b>14,903</b>	<b>50.5</b>	<b>81</b>
仕入債務	13,758	49.6	13,477	45.7	▲281
未払法人税等	499	1.8	604	2.0	104
その他流動負債	562	2.0	821	2.8	259
<b>固定負債</b>	<b>427</b>	1.5	<b>684</b>	<b>2.3</b>	<b>257</b>
<b>負債合計</b>	<b>15,248</b>	54.9	<b>15,587</b>	<b>52.8</b>	<b>339</b>
<b>純資産合計</b>	<b>12,517</b>	45.1	<b>13,927</b>	<b>47.2</b>	<b>1,410</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>27,765</b>	100.0	<b>29,515</b>	<b>100.0</b>	<b>1,749</b>

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	前期	当期
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>▲ 312</b>	<b>2,294</b>
税金等調整前当期純利益	2,629	3,090
減価償却費	276	276
投資有価証券売却損益 (▲は益)	-	▲ 200
保険解約戻金	-	▲ 93
退職給付費用	-	159
売上債権の増減額 (▲は増加)	▲ 714	▲ 624
たな卸資産の増減額 (▲は増加)	▲ 985	636
仕入債務の増減額 (▲は減少)	▲ 517	▲ 293
法人税等の支払額	▲ 953	▲ 952
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>▲ 553</b>	<b>298</b>
有形固定資産の取得による支出	▲ 507	▲ 235
投資有価証券の売却による収入	-	381
保険積立金の解約による収入	-	106
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>▲ 459</b>	<b>▲ 545</b>
配当金の支払額	▲ 459	▲ 545
<b>現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)</b>	<b>▲ 1,325</b>	<b>2,047</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>8,563</b>	<b>7,238</b>
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>7,238</b>	<b>9,285</b>

# コーポレート・ガバナンスの強化

## ● 監査等委員会設置会社に移行

---

- ・ 経営に対する監督機能の強化

## ● 社外取締役の増員

---

- ・ 経営の透明性・公正性の向上 (全取締役9名の内、4名が社外取締役)

## ● 政策保有株式の売却

---

- ・ 保有意義が乏しい株式を売却

# 2017年3月期の見通し

---

# 事業環境

## 医療費抑制の圧力

---

- ・ 診療報酬改定
- ・ 病院機能明確化

## 医療機器の高度化

---

- ・ 潜在患者、市場の顕在化
- ・ 機器の専門化

## 医療の偏在化

---

- ・ 地域、診療科、治療内容の偏在
- ・ 大病院への患者の集中

# 2016年診療報酬改定の ポイントと当社への影響

## ① 特定保険医療材料の償還価格の改定

---

⇒ 当社グループへの影響は  
平均 ▲5% (対売上高)

## ② 病院要件の厳格化

---

⇒ 急性期病床数が**10%**程度削減される見込み

# ①償還価格改定:売上高への影響

分類	影響度 (%)
虚血性心疾患関連 (PCI)	▲ 8.7
心臓律動管理関連 (CRS)	▲ 3.4
心臓血管外科関連 (CVS)	▲ 2.0
末梢血管疾患関連 (PPI)	▲ 3.7
脳外科関連	▲ 2.3
その他	▲ 0.7
全体	▲ 5.0

(2016年3月期の売上構成比・数量ベースでの試算)

# 主要製品の償還価格

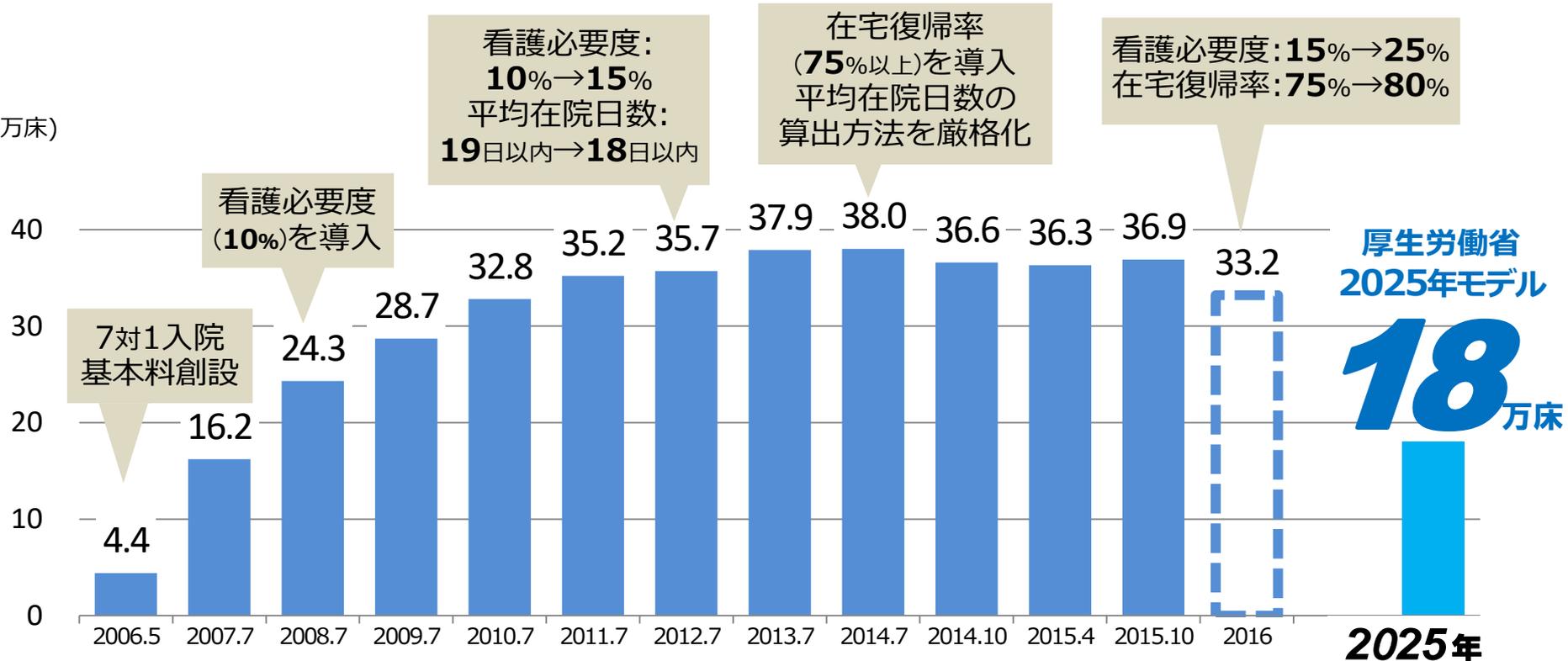
分類	製品分類	特定保険医療材料の償還価格(千円)		増減率(%)
		2014年	2016年	
PCI	PTCAバルーンカテーテル	67	59	▲12.0
	DES	261	226	▲13.4
	IVUS	109	100	▲8.3
CRS	ペースメーカー	827	739	▲10.6
	ペースメーカー(MRI対応型)	1,040	986	▲5.2
	ICD	2,940	2,890	▲1.7
	ICD(MRI対応型)	3,300	3,300	0.0
	CRTD	4,280	4,140	▲3.3
	CRTD(MRI対応型)	4,500	4,500	0.0
	皮下植込型除細動器(S-ICD)	—	2,870	-
	ABLカテーテル	149	143	▲4.0
	冷凍ABLカテーテル	637	637	0.0
CVS	ステントグラフト(腹部)	1,310	1,310	0.0
	オープン型ステントグラフト	—	1,140	-
	TAVI用生体弁(バルーン拡張型)	4,650	4,430	▲4.7
	TAVI用生体弁(自己拡張型)	—	3,670	-
PPI	PTAバルーンカテーテル	72	67	▲6.9
	末梢血管用ステント	188	188	0.0

## ②病院の要件厳格化:急性期病院

7対1入院基本料の厳格化により、  
急性期病床の約**10%**(約**3.6**万床)が脱落

### 一般病棟入院基本料の要件と急性期病床数の推移

(万床)



(出典) 2015年12月9日開催 中央社会保険医療協議会 総会 資料「入院医療(その7)」より当社作成

# 今期の重点施策

## 病院機能強化支援の推進

---

### 現状

- 心臓カテーテル治療を行う病院のうち、アブレーション等の不整脈治療もできる病院は3割程度
- 心房細動患者100万人のうち、アブレーション治療は5%程度
- 末梢血管疾患の治療・検査推進によるPCI症例数増加の事例も発現

# 病院機能強化支援の具体策

---

## マルチ・スペシャリティ へのバリューアップ

- ①他科への進出提案:循環器内科 ⇒ 心臓外科
- ②治療領域の拡大提案:心臓カテーテル ⇒ 不整脈
- ③関連疾患スクリーニング推奨による潜在患者の発掘:  
心臓 ⇔ 末梢血管
- ④ハイブリッド型医療チーム編成支援
- ⑤専門的な適正使用支援の提供:  
アブレーションチームによる医療現場サポート

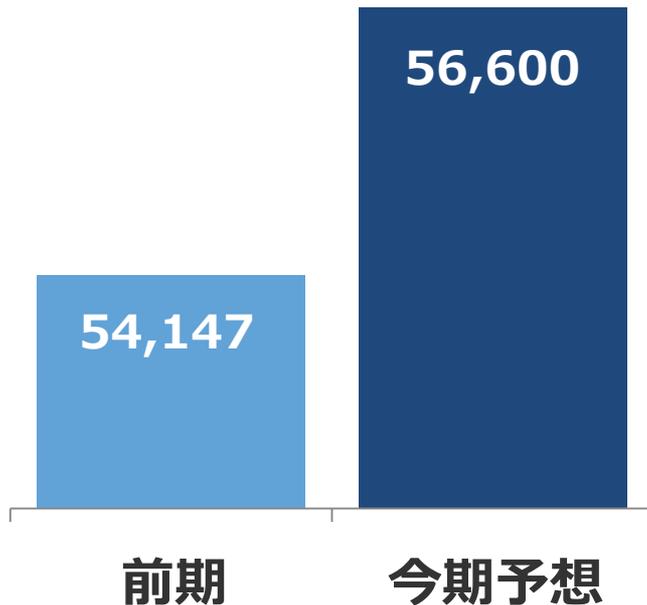
# 2017年3月期 通期予想

2017年3月期	金額 (百万円)	百分比 (%)	前期比 (%)
売上高	56,600	100.0	+4.5
営業利益	3,000	5.3	+1.2
経常利益	3,000	5.3	+0.7
当期純利益	2,050	3.6	▲2.9
1株当たり当期純利益(円)	142.82		▲2.9
1株当たり配当金 (円)	43.0		+4.9

# 業績予想のポイント

売上高 <sup>前期比</sup> +4.5%

(単位：百万円)



## 既存顧客の深耕

- ・ 病院機能強化支援の提供

## 新規顧客の獲得

- ・ 首都圏の有力病院の開拓
- ・ 首都圏以外での営業活動強化  
新規進出した地域では、提案要請が増加  
⇒ 人員を増強し、取引拡大に注力

各カテゴリーで販売数量増による増収を見込む  
但し、脳外科は西日本での営業戦略見直しで減収

# 分類別売上高見通し

(単位：百万円)

	金額	前期比	構成比
虚血性心疾患関連 (PCI)	23,330	+3.1%	41.2%
心臓律動管理関連 (CRS)	11,960	+5.1%	21.1%
心臓血管外科関連 (CVS)	6,820	+2.4%	12.0%
末梢血管疾患関連 (PPI)	3,010	+7.4%	5.3%
脳外科関連	1,770	▲7.0%	3.1%
糖尿病関連 (DMS)	1,030	+33.1%	1.8%
大型機器関連	3,970	+19.2%	7.0%
その他	4,710	+0.7%	8.3%
合計	56,600	+4.5%	100.0%

# 業績予想のポイント

営業利益 前期比 **+1.2%**

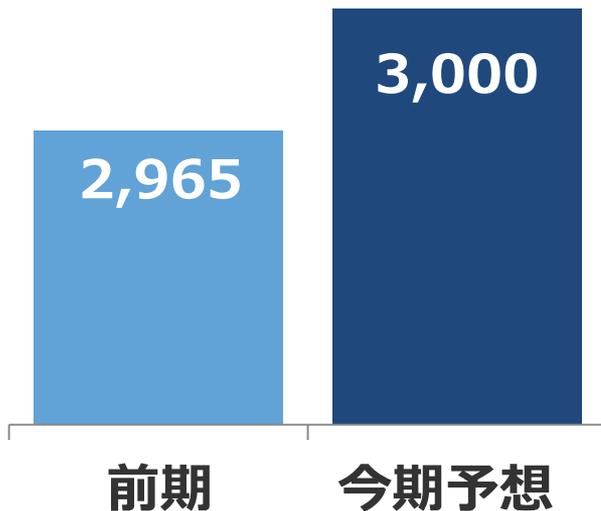
(単位：百万円)

売上総利益率 **13.5%** (前期比+**0.1pt**)

- ・数量増をコミットした価格交渉により、償還価格の下落を吸収
- ・販売数量の増加によるリベート獲得等

販売管理費率 **8.2%** (前期比+**0.3pt**)

- ・人員増強の為、販売管理費は前期比+**8.4%**  
人員計画：前期末 **422**名 ⇒ 当期末 **478**名 (+**13.3%**)

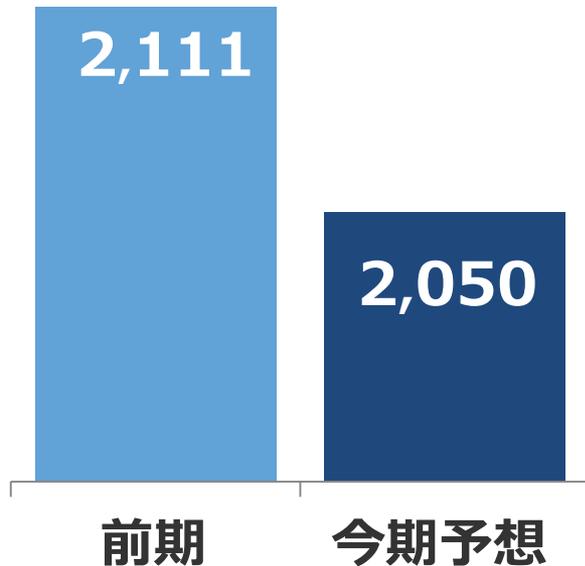


# 業績予想のポイント

当期純利益 前期比 ▲2.9%

前期の特別利益がなくなることにより減益

(単位：百万円)



設備投資 **0.6 億円**  
(前期実績 **3.1 億円**)

減価償却費 **2.3 億円**  
(前期実績 **2.7 億円**)

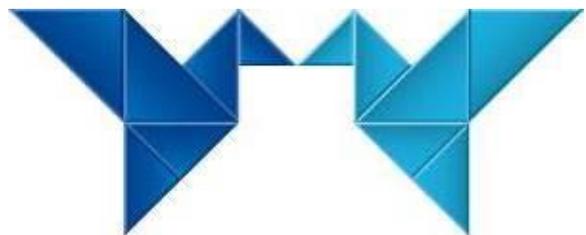
# 配当方針

業績、経営基盤の強化および  
将来の事業展開等を総合的に勘案しながら  
配当性向 **30%** 以上 を目指します

2017年3月期 配当金予想

期末 **43** 円

---



WIN PARTNERS

WIN A BETTER QUALITY OF LIFE

## ロゴマークについて

幸せの象徴、青い鳥が向かい合ってつくる「W」  
それは私たちの頭文字であり、企業や人とのパートナーシップを表しています。  
三角形はひとつひとつの企業を表し、より良い社会に向けて自在に形を変え、  
進化しながら高みを目指す私たちの企業姿勢を伝えます。

この資料は投資家の参考に資するため、ウイン・パートナーズ株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2016年5月25日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料に関するお問合せ先

ウイン・パートナーズ株式会社 社長室

TEL：03-6895-1234 FAX：03-5688-0891

HP：http://www.win-partners.co.jp